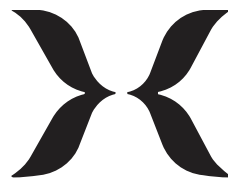


2020（令和2）年度
卒業生アンケート調査結果



比治山大学
比治山大学短期大学部

高等教育研究開発センター

2021（令和3）年3月

調査の概要

1. 目的 本学卒業生に対し、在学期間を通しての成長実感や現在の役立ち度、また本学への評価・推奨意向を聴取することで、本学の強み・弱みや本学での学びが社会にどう活用されるかを把握し、今後の学校運営施策の一助とする
2. 対象 比治山大学 平成29(2017)年度卒業生(2014年度生)
比治山大学短期大学部 平成29(2017)年度卒業生(2016年度生)
3. 調査方法 インターネット調査
4. 調査期間 2020(令和2)年10月1日～10月30日
5. 回収状況

	対象者*	回答者数	回収率
■大学	308 名	56 名	18.18%
現代文化学部 言語文化学科	97 名	13 名	13.40%
現代文化学部 マスコミュニケーション学科	32 名	5 名	15.63%
現代文化学部 社会臨床心理学科	55 名	7 名	12.73%
現代文化学部 子ども発達教育学科	71 名	18 名	25.35%
健康栄養学部 管理栄養学科	53 名	13 名	24.53%
■短期大学部	268 名	44 名	16.42%
短期大学部 幼児教育科	112 名	15 名	13.39%
短期大学部 総合生活デザイン学科	104 名	18 名	17.31%
短期大学部 美術科	52 名	11 名	21.15%
総計	576 名	100 名	17.36%

6. 実施 高等教育研究開発センター 評価・IR部門
7. 集計 大学・短期大学部に分けて表記した。
所属・自由記述等の項目は除く。経年で調査する項目を掲載する。

卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

【言語文化学科(日本語文化コース)】

- 1 日本語学・日本文学・日本文化に関する専門知識を修得します。
- 2 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得します。
- 3 地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢とを持ち、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を習得します。

【言語文化学科(国際コミュニケーションコース)】

- 1 異文化に関する知識を体系的に理解し、異文化間の摩擦から生じる課題を自ら発見し、解決する能力を修得します。
- 2 発信型の英語力などの語学の運用に必要な汎用的技能を修得します。
- 3 国際的な社会人に必要とされる高い倫理観を修得します。

【マスコミュニケーション学科】

- 1 情報社会やマスコミの本質を理解し社会に貢献する基礎知識とコミュニケーション能力を身につけています。
- 2 新聞・テレビ・広告・インターネット等の様々なメディアについて基礎的な知識を有しており、これらを必要とするどんな仕事の「現場」でも一定の対応ができます。
- 3 「一人ひとりの心を動かす情動的価値」を理解し、映像・編集、広告・マーケティング、情報メディアのいずれかの知識・技能またはそれらの融合した知識・技能を駆使して、的確な情報発信を行う能力を備えています。

【社会臨床心理学科】

- 1 人間の心や行動について、パーソナリティに代表される個人的要因、および家族、学校、コミュニティ等の社会・文化的な要因の影響を受けていることを理解できる能力を修得します。
- 2 人間の心や行動に関する現象の原因を、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにできる能力を修得します。
- 3 心理学的理論や手法を自分自身の理解、さらには社会現象の理解に応用できるようにし、そこにある問題や課題について、実践的にアプローチできる能力を修得します。

【子ども発達教育学科】

- 1 子どもの健全な発達を支援する人間にふさわしい豊かな教養を修得します。
- 2 人間関係力や自己表現力など社会人として必要な力を修得します。
- 3 子どもの発達を多面的、総合的に理解する力を修得します。(子ども理解力)
- 4 子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的な指導力を修得します。(教科学習指導力など)
- 5 地域社会や職場において子育てや次世代育成支援にリーダーシップが発揮できる専門性と行動力を修得します。

【管理栄養学科】

- 1 社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備え、食と健康に常に関心及び社会の福祉に貢献しようとする意思を持ち、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けています。(関心・意欲・態度)
- 2 人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題について理解するとともに、その適切な解決策を提案できる問題解決力と判断力・思考力・行動力を身に付けています。

(思考・判断)

- 3 専門職としての管理栄養士に必要となるコミュニケーション力, プレゼンテーション力, チームワーク力を有し, チームの一員として一人ひとりの状況に応じた栄養マネジメントや健康指導等を効果的に行なうことができる実践力や指導力を身に付けています。(技能・表現)
- 4 管理栄養士や栄養教諭の職務遂行に必要な高度な専門的知識・技術を身に付けています。(知識・理解)

【幼児教育科】

[知識・理解]

- 1 子どもの心身の健康や発達について理解する。
- 2 保育の本質と目的について理解する。
- 3 保育者の役割について理解する。

[技能]

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や心の動きに合わせて援助ができる。
- 2 一人ひとりの子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる。
- 3 保育の基礎技能を豊かな表現力で指導できる。

[思考・判断・表現]

- 1 保育の記録を通して, 子ども一人ひとりの育ちを捉えることができる。
- 2 子どもの生活に即した保育を構想することができる。
- 3 自らの保育の過程を振り返り, 自己評価できる。

[態度・志向性]

- 1 子どもの最善の利益を尊重する。
- 2 人との信頼関係を築き, 相互に協力して共に育ち合おうとする。
- 3 保育者としての社会的責任を自覚するとともに, 自己実現の喜びを持つ。

【総合生活デザイン学科】

1 社会で共に生きる力

①五訓学修力(正直・勤勉・清潔・和合・感謝からなる, 学園の「五訓」の意義を理解し, それを行動に表すことができる)を身につける。

②社会貢献力(社会貢献活動に生きがいを感じることができる)を身につける。

2 問題解決力

①夢・目標管理力(目標を達成して生きがいを感じ成長できる)を身につける。

②人を動かす力(自分の存在感を発揮して周りを動かし成果を出すことに貢献できる)を身につける。

3 自分力で立つ力

①仕事人力(社会で役立つ適材として生計を立てて生きることができる)を身につける。

②生活人力(生活を快適に生きることができる)を身につける。

- 4 専門的知識, 技術 栄養士養成コースは, 現場や地域において栄養指導の専門的担当者として活躍できる専門的知識・技術を身につける。

【美術科】

- 1 作品制作を通して自己表現ができる。
- 2 素材や技術に対して基本的な知識を有している。
- 3 芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち, 集中力や持続力大切にして, 豊かな人間関係が構築できる。

Q2. 本学について、現在、あなたは次の点でどのくらい満足していますか。(各項目1つ選択)

		満足 (%)	やや満 足 (%)	やや不 満 (%)	不満 (%)
授業全般	大学	17.9	60.7	17.9	3.6
	短期大学部	40.9	50.0	6.8	2.3
授業外での教員との関 わり	大学	42.9	50.0	7.1	0.0
	短期大学部	38.6	54.5	6.8	0.0
図書館などの学習施設	大学	28.6	39.3	32.1	0.0
	短期大学部	34.1	52.3	11.4	2.3
パソコンなどの情報環 境、サポート	大学	21.4	50.0	26.8	1.8
	短期大学部	40.9	47.7	9.1	2.3
就職指導・サポート	大学	19.6	50.0	28.6	1.8
	短期大学部	40.9	43.2	11.4	4.5
学習・その他のサポー ト	大学	19.6	60.7	14.3	5.4
	短期大学部	38.6	47.7	9.1	4.5
正課外活動（クラブ活 動、ボランティア活 動、インターンシッ プ等）	大学	14.3	60.7	14.3	10.7
	短期大学部	22.7	59.1	11.4	6.8
大学生活全般	大学	26.8	51.8	16.1	5.4
	短期大学部	45.5	47.7	4.5	2.3

Q3. 次の点で本学の授業は、現在どのくらい役立っていると思いますか。また現在の自分の実力はどの程度あると思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		授業の役立ち度				自身の実力の自己評価			
		役立っている (%)	ある程度役立っている (%)	あまり役立っていない (%)	役立っていない (%)	十分実力はある (%)	ある程度実力はある (%)	あまり実力はない (%)	実力は不十分 (%)
将来の職業に関連する知識や技能	大学	16.1	46.4	28.6	8.9	3.6	46.4	39.3	10.7
	短期大学部	29.5	40.9	18.2	11.4	4.5	61.4	29.5	4.5
専門分野の知識・理解	大学	21.4	39.3	26.8	12.5	3.6	39.3	48.2	8.9
	短期大学部	25.0	52.3	13.6	9.1	0.0	59.1	36.4	4.5
論理的に文章を書く力	大学	14.3	39.3	32.1	14.3	3.6	39.3	48.2	8.9
	短期大学部	6.8	50.0	31.8	11.4	4.5	40.9	43.2	11.4
外国語活用の力	大学	7.1	16.1	33.9	42.9	1.8	14.3	41.1	42.9
	短期大学部	4.5	20.5	31.8	43.2	0.0	25.0	31.8	43.2
ものごとを分析的・批判的に考える力	大学	7.1	46.4	35.7	10.7	7.1	46.4	32.1	14.3
	短期大学部	13.6	43.2	31.8	11.4	6.8	38.6	45.5	9.1
幅広い知識、ものの見方	大学	10.7	53.6	23.2	12.5	8.9	44.6	35.7	10.7
	短期大学部	20.5	56.8	18.2	4.5	4.5	47.7	45.5	2.3
主体となって調査・研究・発表を行う能力	大学	12.5	41.1	30.4	16.1	5.4	37.5	42.9	14.3
	短期大学部	18.2	38.6	34.1	9.1	4.5	40.9	40.9	13.6

Q4. 以下について、自分にどの程度あてはまると思いますか。(各項目1つ選択)

		あては まらな い (%)	ややあ てはま らない (%)	どちら ともい えない (%)	ややあ てはま る (%)	あては まる (%)
始めたことは何であれやり遂げる	大学	0.0	12.5	28.6	39.3	19.6
	短期大学部	9.1	6.8	18.2	36.4	29.5
頑張りやである	大学	0.0	16.1	30.4	32.1	21.4
	短期大学部	9.1	11.4	22.7	31.8	25.0
終わるまで何カ月もかかる計画にずっと興味を持ち続けるのは難しい	大学	3.6	25.0	23.2	35.7	12.5
	短期大学部	13.6	15.9	31.8	27.3	11.4
私は困難にめげない	大学	7.1	19.6	39.3	28.6	5.4
	短期大学部	6.8	15.9	34.1	36.4	6.8
物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう	大学	8.9	17.9	23.2	39.3	10.7
	短期大学部	15.9	22.7	25.0	20.5	15.9
いったん目標を決めてから、後になって別の目標に変えることがよくある	大学	7.1	19.6	32.1	32.1	8.9
	短期大学部	18.2	18.2	25.0	36.4	2.3
勤勉である	大学	1.8	32.1	35.7	21.4	8.9
	短期大学部	13.6	27.3	40.9	13.6	4.5
新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	大学	3.6	23.2	37.5	28.6	7.1
	短期大学部	9.1	29.5	36.4	25.0	0.0

Q5. あなたは自分自身をどう思っていますか。項目ごとにあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		そうだ (%)	まあそ うだ (%)	あまり そうで はない (%)	そうで はない (%)
私は価値のある人間だと思う	大学	7.1	42.9	39.3	10.7
	短期大学部	11.4	27.3	54.5	6.8
私は人とうまく協力できるほうだと思う	大学	19.6	60.7	16.1	3.6
	短期大学部	13.6	47.7	29.5	9.1
私はいまの自分に満足している	大学	8.9	37.5	41.1	12.5
	短期大学部	13.6	38.6	27.3	20.5
私は努力すれば大体のことができると思う	大学	8.9	46.4	39.3	5.4
	短期大学部	11.4	52.3	25.0	11.4
私は辛いことがあっても乗り越えられると思う	大学	14.3	41.1	39.3	5.4
	短期大学部	9.1	56.8	25.0	9.1
私は怒った時や興奮している時でも自分をコントロールできるほうだ	大学	19.6	42.9	25.0	12.5
	短期大学部	13.6	56.8	22.7	6.8

Q6. あなたは本学を、これから進学する身の回りの人にどの程度お勧めしたいと思いますか。(複数選択不可)

	是非勧めたい (%)	勧めてもよい (%)	どちらかという と勧めたくない (%)	全く勧めたくない (%)
大学	5.4	71.4	19.6	3.6
短期大学部	31.8	59.1	6.8	2.3

Q8. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)を、また、社会人になって自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※現在働いていない方は、卒業して自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。

現代文化学部
言語文化学科 日本語文化コース

	達成度					社会人としての役立ち度				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	役立っている (%)	やや役立っている (%)	どちらともいえない (%)	あまり役立っていない (%)	役立っていない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得している	10.0	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0	40.0	30.0	20.0	0.0
自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得している	10.0	50.0	30.0	10.0	0.0	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0
地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を探究する視点と姿勢を持っている	0.0	30.0	30.0	30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	20.0	0.0

現代文化学部
言語文化学科 国際コミュニケーションコース

	達成度					社会人としての役立ち度				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	役立っている (%)	やや役立っている (%)	どちらともいえない (%)	あまり役立っていない (%)	役立っていない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
異文化に関する知識を体系的に理解している	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
国際社会、地域社会への興味・関心を養い、そこで活躍できる力を修得している	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
発信型の英語力などの語学の学修を通じて、国際社会、地域社会に貢献できる知識・技能を修得している	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3

現代文化学部
マスコミュニケーション学科

	達成度					社会人としての役立ち度				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	役立っている (%)	やや役立っている (%)	どちらともいえない (%)	あまり役立っていない (%)	役立っていない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
情報社会やマスコミ (メディア) の本質を理解し、社会に貢献する基礎知識とスキルを持ち、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を修得している	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
テレビ・新聞などの在来メディアと、インターネットという新しいメディアの双方に関する基礎知識を有しており、「現場」で求められれば、一定の対応ができる力を修得している	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
「一人ひとりの心を動かす情動的価値」を理解し、映像・編集、広告・マーケティング、情報メディアのいずれかの知識・技能またはそれらの融合した知識・技能を駆使して、適確な情報発信を行う能力を備えている	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0

Q8. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)を、また、社会人になって自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※現在働いていない方は、卒業して自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。

現代文化学部 社会臨床心理学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	役立ってい る (%)	やや役立っ ている (%)	どちらとも いえない (%)	あまり役 立っていない	役立ってい ない (%)	
人間の心や行動について、パーソナリティに代表される個人的要因、および家族、学校、コミュニティ等の社会・文化的な要因の影響を受けていることを理解できる能力を修得している	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	
人間の心や行動に関する現象の原因を、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにできる能力を修得している	0.0	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	42.9	0.0	
心理学的理論や手法を自分自身の理解、さらには社会現象の理解に応用できるようにし、そこにある問題や課題について、実践的にアプローチできる能力を修得している	0.0	42.9	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6	28.6	14.3	

現代文化学部 子ども発達教育学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	役立ってい る (%)	やや役立っ ている (%)	どちらとも いえない (%)	あまり役 立っていない (%)	役立ってい ない (%)	
子どもの健全な発達を支援する人間にふさわしい豊かな教養を修得している	16.7	44.4	38.9	0.0	0.0	16.7	44.4	27.8	5.6	5.6	
人間関係や自己表現力など社会人として必要な力を修得している	22.2	50.0	27.8	0.0	0.0	33.3	33.3	27.8	0.0	5.6	
子どもの発達を多面的、総合的に理解する力を修得している(子ども理解力)	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0	27.8	44.4	16.7	0.0	11.1	
子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的な指導力を修得している(教科学習指導力など)	11.1	27.8	50.0	11.1	0.0	16.7	44.4	27.8	0.0	11.1	
地域社会や職場において子育てや次世代育成支援にリーダーシップが発揮できる専門性と行動力を修得している	5.6	27.8	50.0	11.1	5.6	11.1	22.2	55.6	0.0	11.1	

Q8. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)を、また、社会人になって自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※現在働いていない方は、卒業して自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。

健康栄養学部 管理栄養学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	役立ってい る (%)	やや役立っ ている (%)	どちらとも いえない (%)	あまり役 立っていない	役立ってい ない (%)	
社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備え、食と健康に常に関心及び社会の福祉に貢献しようとする意思を持ち、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けている(関心・意欲・態度)	30.8	38.5	30.8	0.0	0.0	23.1	23.1	38.5	15.4	0.0	
人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題について理解するとともに、その適切な解決策を提案できる問題解決力と判断力・思考力・行動力を身に付けている(思考・判断)	30.8	15.4	30.8	15.4	7.7	30.8	7.7	38.5	15.4	7.7	
専門職としての管理栄養士に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有し、チームの一員として一人ひとりの状況に応じた栄養マネジメントや健康指導等を効果的に行なうことができる実践力や指導力を身に付けている(技能・表現)	23.1	0.0	23.1	30.8	23.1	15.4	15.4	23.1	15.4	30.8	
管理栄養士や栄養教諭の職務遂行に必要な高度な専門的知識・技術を身に付けている(知識・理解)	23.1	0.0	30.8	30.8	15.4	15.4	15.4	38.5	7.7	23.1	

短期大学部 幼児教育科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	役立ってい る (%)	やや役立っ ている (%)	どちらとも いえない (%)	あまり役 立っていない	役立ってい ない (%)	
[知識・理解]											
保育の本質と目的について理解する	22.2	50.0	22.2	5.6	0.0	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	
子どもの心身の健康や発達について理解する	11.1	72.2	5.6	5.6	5.6	38.9	55.6	0.0	0.0	5.6	
保育者の役割について理解する	16.7	66.7	11.1	0.0	5.6	33.3	55.6	0.0	5.6	5.6	
[技能・表現]											
子ども一人ひとりの生活や発達過程に応じた援助ができる	11.1	66.7	16.7	0.0	5.6	27.8	50.0	11.1	5.6	5.6	
保育の基礎技能を豊かな表現力で指導できる	11.1	55.6	5.6	22.2	5.6	33.3	22.2	27.8	11.1	5.6	
一人ひとりの子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる	11.1	33.3	44.4	5.6	5.6	27.8	33.3	33.3	0.0	5.6	
[思考・判断]											
子どもの生活に即した保育を構想することができる	5.6	61.1	22.2	5.6	5.6	22.2	44.4	22.2	5.6	5.6	
保育の記録を通して、子ども一人ひとりの育ちを捉えることができる	11.1	66.7	11.1	5.6	5.6	33.3	44.4	11.1	0.0	11.1	
自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる	5.6	50.0	33.3	5.6	5.6	38.9	22.2	27.8	5.6	5.6	
[関心・意欲・態度]											
子どもの最善の利益を尊重する	38.9	50.0	5.6	5.6	0.0	38.9	44.4	11.1	0.0	5.6	
人との信頼関係を築き、相互に協力して共に育ち合おうとする	33.3	44.4	16.7	5.6	0.0	44.4	33.3	16.7	0.0	5.6	
保育者としての社会的責任を自覚するとともに、自己表現の喜びを持つ	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	33.3	38.9	22.2	0.0	5.6	

Q8. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)を、また、社会人になって自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※現在働いていない方は、卒業して自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。

短期大学部 総合生活デザイン学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	役立ってい る (%)	やや役立っ ている (%)	どちらとも いえない (%)	あまり役 立っていない	役立ってい ない (%)	
挨拶や返事、報告など、社会における基本的なコミュニケーション力を身につける	20.0	20.0	33.3	20.0	6.7	20.0	26.7	46.7	0.0	6.7	
自発的な行動により、何事も積極的に取り組む意欲や態度を身につける	20.0	40.0	26.7	6.7	6.7	20.0	26.7	46.7	0.0	6.7	
人に対してやさしく、思いやりの気持ちを持つとともに、社会人に必要なマナーを身につける	33.3	40.0	26.7	0.0	0.0	26.7	40.0	26.7	0.0	6.7	

短期大学部 美術科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	役立ってい る (%)	やや役立っ ている (%)	どちらとも いえない (%)	あまり役 立っていない	役立ってい ない (%)	
作品制作を通して自己表現ができる	27.3	54.5	18.2	0.0	0.0	9.1	63.6	18.2	9.1	0.0	
素材や技術に対する基本的な知識を有している	9.1	54.5	27.3	9.1	0.0	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1	
芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち、集中力や持続力を大切にして、豊かな人間関係を構築できる	18.2	54.5	18.2	9.1	0.0	18.2	63.6	18.2	0.0	0.0	

Q9. あなたご自身のことについてお伺いします。「4×3の比治山力」の12の項目ごとに、ご自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)※項目の中の「チーム」という言葉は、共同研究・共同発表や授業の中のグループワーク、クラブ・サークル活動や行事参加などで、同じ目標達成や課題解決を目指す集団を指します。

		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	大学	25.0	50.0	17.9	7.1	0.0
	短期大学部	15.9	59.1	22.7	2.3	0.0
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	大学	21.4	41.1	26.8	8.9	1.8
	短期大学部	13.6	34.1	36.4	13.6	2.3
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	大学	19.6	41.1	28.6	8.9	1.8
	短期大学部	20.5	36.4	29.5	11.4	2.3
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	大学	16.1	39.3	23.2	21.4	0.0
	短期大学部	18.2	29.5	29.5	15.9	6.8
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	大学	16.1	39.3	26.8	16.1	1.8
	短期大学部	11.4	34.1	29.5	15.9	9.1
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	大学	41.1	39.3	10.7	7.1	1.8
	短期大学部	31.8	54.5	11.4	2.3	0.0
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	大学	37.5	37.5	17.9	5.4	1.8
	短期大学部	22.7	40.9	27.3	4.5	4.5
チームに貢献できるような行動をとることができる	大学	21.4	51.8	21.4	5.4	0.0
	短期大学部	20.5	34.1	34.1	6.8	4.5
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	大学	26.8	46.4	17.9	8.9	0.0
	短期大学部	25.0	47.7	20.5	6.8	0.0
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	大学	16.1	48.2	21.4	12.5	1.8
	短期大学部	11.4	47.7	27.3	6.8	6.8
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	大学	10.7	35.7	28.6	16.1	8.9
	短期大学部	11.4	22.7	25.0	25.0	15.9
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	大学	12.5	32.1	37.5	12.5	5.4
	短期大学部	11.4	25.0	40.9	11.4	11.4